



撮影地/佐藤雄輝さんの作業場

Vol.24：複合経営をする西荒瀬地区の若手農家と将来を語る

組 3人とも、水稲面積が昨年と比べ3～5ha増えていることに驚きました。

佐 今年、水田の集積がたまたま多く進みました。

組 西荒瀬地区は昔から畑どころとして有名で、皆さんも水稲と園芸野菜を組み合わせた家族での個人経営ですね。JAでは水稲と園芸の複合経営を支援し、「農業者の所得増大」と「農業生産拡大」を目指しています。今後も面積を増やしたいですか。

佐 増やすことはできます。

太 水稲を増やすことは考えていません。野菜苗の生産販売を軸に水稲もしていますが、水田で効率的に野菜を作る方が所得増になると思います。

堀 まだ計画はありません。天候が変わる中、限られた自分の作業時間をどの作物に使うかの判断を常に求められます。全てをカバーするには時間が足りないです。

組 農家の良さはどこにあると思いますか。

佐 3人とも会社員の経験とそれぞれに子どもがいます。子育てなど時間の調整がきくところです。

堀 誰の指示も受けず自分で計画し実行できる所です。悪い所は甘えが出れば収入に直結する所です(笑)

組 米の出荷契約は皆さんの名前ですね、仕事に対しての張り合いがあると思います。園芸とどういう組み合わせがベストなのか、将来ビジョンをどう描くか大切ですね。

太 家族皆が動けるうちに、できるだけ機械化を進めたいです。野菜苗の水やりは手作業で2～3時間かかります。ボタンを押せば機械がしてくれると非常に楽になります。また、水稲育苗ハウスの温度をスマホで確認できたら便利ですね。

組 面積が増え、機械に頼るのは当然ですね。JAにやってもらいたいことはありますか。

太 農機や肥料・農薬など個人に合ったものを提案してもらおうと楽ですね。実は、機械や肥料・農薬メーカーの営

業担当者がよく来てくれます。こういうことをしたい、ここが困っていると話すといろいろ提案してくれます。調べたり、JAへ行けばいいのかもしれませんが、その時間があれば水田や畑に出たいです。

JAの集約銘柄の肥料は、予約購入して、安く買うことができ良かったという声を聞いています。

組 堀さんはJAの園芸生産拡大事業でシャインマスカットを作っていますね。

堀 昨年、ハウス3棟に42本定植しました。栽培講習会に参加し、来年試験的に実をつけると聞いているので期待しています。

組 それは楽しみです。

太 もう1つ要望として、国や県、市の助成金の情報が私たちにはほとんど入ってきません。昨年、年間120万円の就農支援制度を初めて知りました。有益な情報を逃したくないので、助成金に関する情報の整理と発信をJAのホームページなどでできないですか。

佐 行政から助成金について案内文書がきますが、仕事が終わってから、硬い文章を読むのは大変です。要点を教えてもらえれば、無駄な時間を省けます。

組 それはやるべきです。営農指導員に限らずJA職員は、次世代を担う皆さんと、もっと話し、顔を合わせなければいけません。

太 JA座談会はありますが、今回のように深く話せる機会がありません。

組 JAの出向く指導や、対面しての話合いが薄れていると思います。だからと言って、営農指導員を増やすのは限界があります。皆さんにお願いしたいのは、指導員などJA職員を呼び出し、なんでもいいので要望や思っていることを伝えてほしい。これからの頼りは皆さんの世代です。

佐 = 佐藤雄輝さん、太 = 太田準也さん、堀 = 堀隆司さん
組 = 阿部茂昭組合長

佐藤雄輝さんは昭和54年生まれ。水田面積は8.5ha。水稲の他、長ねぎやキャベツなど園芸品目を多数栽培し、山居館へも出荷。酒田市藤塚で家族8人暮らし。西荒瀬CEサブオペレーターなどとしても活躍しています。

太田準也さんは昭和52年生まれ。水田面積は8.3ha。水稲の他、多くの野菜苗を生産・販売。酒田市宮海で家族8人暮らし。

堀隆司さんは昭和51年生まれ。水田面積8.3ha。水稲の他、長ねぎをはじめ園芸品目を多数栽培。酒田市藤塚で家族5人暮らし。



佐藤 雄輝 さん



太田 準也 さん



堀 隆司 さん